

親子で知ろう

76年前の品川はどうなっていた？

「品川の空襲と学童疎開を語りつぐ」

日時：2021年5月23日(日)午後1時から午後4時

会場：スクエア荏原

(品川区荏原 4-5-18)

東急目黒線武蔵小山駅・東急池上線戸越銀座駅・下車徒歩10分
東急バス五反田8番乗り場「世田谷区民会館」行「平塚橋」下車5分

76年前、アジア太平洋戦争中、自分たちが住んでいる町がどうなっていたのか、子ども達はどのようにしていたのか、知らない方が多くなりました。語り伝えられる方も少なくなりました。私たちは、地域の記憶を語り伝えたいと毎年、城南空襲のあった日近くで語り継ぐ会を開いてきました。品川の子供たちが行った学童疎開地での暮らしを表す絵や作文も展示します。親・子・孫一緒に見て考えてみませんか？

<内容>

初空襲と品川区(1942.4.18)

小島義一氏が描く城南空襲(1945.5.24)

品川区の集団学童疎開生活を絵や作文から



1945.5 焼け野原になった中延付近。焼け跡で祖父の硯を見つけた。小島義一絵



伊藤国民学校5年生が集団学童疎開先(八王子の寺)で書いた作文。他の学校の疎開児の絵や作文も展示。



1942年4月18日アメリカによる初空襲。東品川の東亜製作所は従業員16名死亡。「殉職者の碑」が天妙国寺(南品川2-8-23)に

*昨年作られた品川区作成のDVD「しながわの子・カ・ラ昭和20年5月24日25日空襲の記憶を語り継ぐ」(2020.8制作/品川区(10分)等)を上映します。大人数にならないよう随時上映となります。

主催：城南空襲を語り継ぐ会 後援：品川区教育委員会

連絡先：西條明子 TEL03-5742-7563 fax03-3775-7883

昨年は新型コロナで緊急事態宣言が発令され、中止としました。今回は、感染防止に注意しながらの開催となります。狭い会場なので、証言はありません。参加する方は、マスク、検温、手指の消毒をしてご参加ください。中止等の場合は下記HP <https://heiwannotameno.net/> でお知らせします。問い合わせは、mail@heiwannotameno.net まで。

語り伝える機会が少なくなった今、仮題『知っていますかあの戦争のこと 品川が焼け野原になった—小島義一さんが見た城南空襲の絵を見て』のDVD作成中です。完成試写会計画、作成資金募集中。試写会情報等HPでお知らせ